

# 牛久：学校周辺に見る自然

第30号 宮内家、ひたち野うしく小

2011年8月2日発行

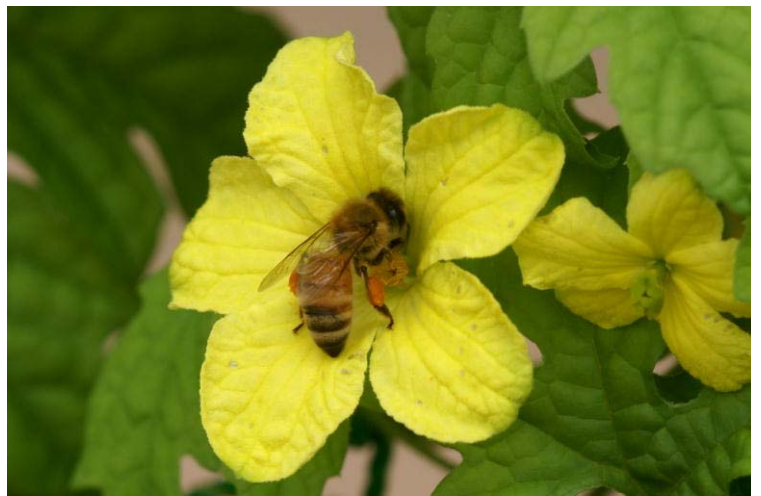
おすすめ  
くものぐさな人にもお勧め ～家庭でできる生きもの観察～

暑中お見舞い申し上げます。このところ猛暑も落ち着いているようですが、週末あたりからまた、暑くなってきました。こんなときに生きもの観察なんて…と、氷を食べながら部屋で涼んでいる人はいませんか？何も遠くへ出かけなくても、家の庭などでも生きもの観察はできるのですよ。

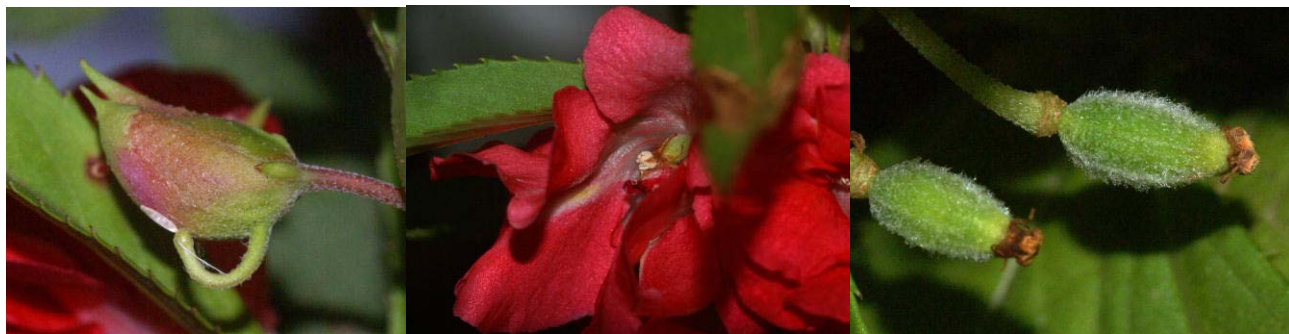


これはわが家のベランダで、バケツで育てている熱帯スイレンにきたアマガエルです。重なった葉と葉の間にうまく入って涼んでいました。何匹いるか分かりますか？葉の向うにかくれて写っていないものも含めて、9匹いました。とんりににはタヌキモなどの水草を育てている水槽も置いているのですが、こんなちょっとした水場を用意してやるだけで、カエルやトンボなどいろいろな動物が集まってきます。

花壇の花にも、花粉を運ぶ虫たちがやってきます。虫たちにすれば、ただえさを求めてやって来ているだけなのですが。はやりの緑のカーテン、ツルレイシにもハナバチやハナアブなどがやってきます。家のはうまく撮れなかったので、右の写真はサマースクールのお手伝いに来た時、ひたち野うしく小のツルレイシで蜜を吸っていたセイヨウミツバチです。



3年生の皆さんは、ホウセンカを育てていますね。私の好きな花の一つで、家でも育てています。6年生も<sup>きこう</sup>気孔や水の通り道の観察で使いますが、花についても下の方から順に次々と<sup>ま</sup>咲くので、つぼみから花、果実、そして種子の飛ばし方まで観察することができます。



ホウセンカのつぼみ（左）、花（中）、若い果実（右）

中には、植えたわけでもないのに、かってに生えてきた植物もあります。わが家ではヤツデやマンリョウ、クスノキなど、たぶん鳥が食べて糞とともに落としていった種子から<sup>めばえ</sup>芽生えたと思われるものが、<sup>けっこう</sup>けっこうたくさん大きく育っています。写真は、いまきれいに咲いているマンリョウ。なかなか、かわいいでしょ？



右のは白い実ができますが、園芸品種らしいので、もとはどこかの庭などで育てられていたものなのでしょう。



庭に出るのもおっくうという人には、花びんなどにいけてある花の観察などいかがでしょう？写真は、トルコギキョウ（リンドウ科）。雄しべの<sup>やく</sup>葯が開き<sup>かふん</sup>花粉を出し始める頃、雌しべの<sup>ちゅうとう</sup>柱頭はまだ閉じていますね（上）。これは同じ花の花粉がつかないように、雄しべと雌しべの<sup>せいじゅく</sup>成熟する時期がずれているとのことです。その方がよい種子ができるのです。雄しべは5本の場合（下左）と、6本の場合



とあり（下中）、雌しべもふつうは柱頭が2つに<sup>き</sup>裂けますが、時々3つに裂けたものも見つかります（下右）。

いかがですか？けっこう近くにおもしろい生きものもいるでしょう？ 以前ご紹介したスズムシも、きれいな声で鳴き始めています。暑い夏、気持ちだけでも涼しく<sup>のりこえ</sup>乗り越えましょう（と、自分に言い聞かせています）。【理科支援員 宮内】

